

コミュニティ・スクール情報

2021. 7. 16

第1回三川町学校運営協議会が7月1日（木）テオトルにおいて18：30より開催されました。協議会の分科会（各小中学校協議会）で話し合われた議事録を下記に記載しましたのでお読みください。

【横山っ子ネットワーク協議会】横山小学校区

◎ 学校運営方針についての質問やご意見 ⇒ 学校運営方針を承認

・いじめ、不登校の状況はどうか。

→いじめに関しては、「仲良くなるためのアンケート」を取ると、令和元年度で90件程度、昨年度80件程度ある。喧嘩やふざけ合いでも確認して指導している。不登校は「登校渋り」は低学年や環境の変化によって若干ある。

・英語の授業は、どのような進め方で、どの程度、現在の能力はあるのか。

⇒1～2年生は年間12回、3～4年生は週2回程度、5～6年生は年間70時間を確保し評価もする。三川中学校在籍のALT、東郷小・押切小に在籍の英語指導員2名が、簡単な会話（聞いて、話す）の指導をしています。5～6年生はワークシートを活用し、また、発表（パフォーマンス）なども行っています。

・児童や先生のことを考えられている教育方針といえる。みんな楽しいだろうなと思える。

・学校を見て子どもに入りたいといわれ引越して来た人の話を聞いた。中身も充実してすばらしい。

◎ 学校課題や地域課題への意見交換

・いじめの見極め、いじめと喧嘩の違い。

→たとえ好意であっても、受け止める側が嫌ならいじめとする。そのように教員と保護者で共通認識している。

・教員の一方的な思い込みや見方をしないこと、児童と教員の信頼関係の構築の上に指導が活きる。

→教育上大切なこと。情報を早くいただくことで早期対応につながる。心を込めて児童に対応し、広い心で児童に寄り添っていききたい。

・他校では、月例テストがない学校もあると聞いた違いはなにか。

→ない学校も増えているようだが横山は残したい。他校では、「ワークテスト」等の名前で習熟度の確認をしていると考えられる。

・スポ少活動をしていると、町内3校の小学校で行事を合わせていただきたいと思うことがある。

→教務主任会で話題にしてみます。

・相撲の土俵入り等素晴らしかった。下級生も注目していた。経験も財産。伝統を守りながら、地域との関わりを大切にしていってほしい。

【おらほの学校づくり協議会】東郷小学校区

◎ 学校運営方針についての質問やご意見 ⇒ 学校運営方針を承認

- ・いじめ、不登校の状況はどうか。
- いじめアンケート結果では36件。アンケートは児童が数カ月に一度、保護者からも年2回とっている。東郷っ子は、目標に掲げなくともとても優しい。不登校児童はいない。不登校傾向にある子は数名いて様子を見ている。
- ・不登校気味の児童に対する対応は。
- 児童により異なるが、第1目標を少しでも登校、第2目標を1時間目からと段階を踏んで支援している。
- 学力は全国平均を上回っている。一方で、「たくましさ」の観点から、新しいことに失敗を恐れずにチャレンジする力が弱い。今後の課題としていきたい。
- ・学校評価の際のPDCA（Plan Do Check Action）の継続の仕方は。校長が替わると取り組み方が変わる。
- Action=校長としての的確な経営の方針の発信。Check=より実態を理解するための評価の仕方。先生たちには「主体性」をもつことを一番に伝えている。

◎学校課題や地域課題への意見交換

- ・イオンや住宅地の造成により、東郷っ子も変わってきている。将来様々な人と関わっていくので主体性をもつようしむけたい。
- ・失敗体験は大切にしたい。考えるようになり自立につながる。
- ・自分の弱さを知って強くなる。自分を知ることが大切。
- ・メディアからの情報が溢れ失敗しないような世の中になってきている。一方で、情報があることで、感情が薄れてきているともいえる。子どもたちには多様性を望みたい。
- 「セーブメディア」も重要。わくわく感やチャレンジ精神をより大切にしたい。
- ・千葉での下校時の事故に心を痛める。スクールバス登下校も考えていくべきでは。

【こうふく押切っ子協議会】押切小学校区

◎ 学校運営方針についての質問やご意見 ⇒ 学校運営方針を承認

- ・ICTの活用について、先生方の得手、不得手があると思うがどのように対応しているのか。
- ギガ担当の教員を中心とした共有のための校内研修を行っている。ギガ担当教員は、町の研修会等で得た技術を持ち帰って職員に伝達している。児童の各家庭の通信環境にも差があると考えられるので、体制が整ってから、5、6年生のデジタルドリルを進めていきたい。
- ・ランチルームの改修について、コロナの感染拡大が治まったら縦割り班による会食に戻れたらよいと思う。縦割りの活動は、様々なメリットがある。
- 縦割り班の活動は、押切小のとてもよい活動となっていて、立場が子どもたちを育てていると感じている。早く、もとのように戻せたらよいと思っている。

◎学校課題や地域課題への意見交換

- ・千葉県での下校時の事故をみて、危険箇所は何十年も変わっていない。
 - ・地域と学校でタッグを組み、県や町に根気強く訴えていくしかない。
- 地域の方からこの冬、登下校に屋根から落雪の危険が有ることを教えていただき、町内会長さんと教育委員会に対応してもらった。地域の方々の協力をありがたく感じている。夏場は、マスクをはずしおしゃべりをしないで登下校することを指導した、非常時は声を出すようにと指導している。
- ・昨年より、学童までの距離が長くなり大変だった。(1年生)今年、スムーズに行われている。
- 学童に通っている児童は、1年生でも半数いる。三校とも学童に通う子は多いようだ。
- ・いじめについて、どんないじめが多いか。
- 件数は、低学年が多い。まとめとしては、陰湿で深刻なものはないという印象。また、継続的なものもあまりない。アンケートで言えない児童にも配慮し、職員で児童の様子を共有していきたい。

【三川中学校連絡協議会】(仮) 三川中学校区

◎ 学校運営方針についての質問やご意見 ⇒ 学校運営方針を承認

◎ 学校課題や地域課題への意見交換

(他人との関り方など)

- 三川中生の長所・短所(全国学力・学習状況調査、生徒質問紙より)みると、長所として、まじめで、礼儀正しく、思いやりがある。短所として、控えめ、自分に自信がない。
- ・短所にあたる「控えめ、自分に自信がない」ことには、様々なところで話し合いが必要である。
 - ・住んでいるところのよさを、子どもに伝えたり、子どもが学ぶ機会が少なくなっている。都会に出て、戻ってくるような地域愛が必要である。地域とのかかわりを大切にしていきたい。

(部活動にかかわることでの意見交換)

- 顧問によっては、初めて関わる競技を担当することになったり、土、日の部活動が、教員の負担ともなっている。地域との連携を深めながら、地域主体のあり方について実現していきたい。
- ・地域の受け皿は今後考えていく必要がある。運動系のものは比較的多くある。吹奏楽など文化的な受け皿を今後充実させる必要があるのでは。
 - ・地域の人材が課題になっていくであろう。高校まで続けられると地域の指導者へつながることもある。
 - ・小学校時にスポーツ少年団としてやってきたことを、中学校で続けるか続けないかにわかれ、高校に入るとやらなくなるような子どもが多く残念な気になる。

(広報・情報発信について)

- 小学校は、全戸配布。中学校は枚数的に大変。HPをつくれなかと考えている。
- ・保護者の方でもその道に精通する方もいる。協力をいただくことができないか。